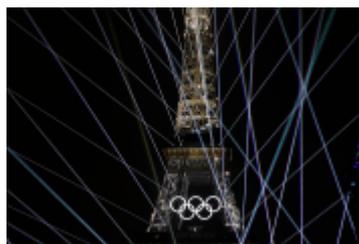




2024 年度  
第 32 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

1  
開会式の議論から  
水質施設や性別問題まで  
言葉も問題も多かった  
パリ五輪



2  
選手の上に  
君臨する  
競技団体



3  
最小規模の選手で  
16年ぶりの  
歴代最高成績



4  
オリンピック  
スポーツと  
政治に対する断想



5  
女性でも男性でも  
ありません…  
スポーツジレンマ  
「間性」選手



大韓民国スポーツの  
根本的変化を  
皆さんと共に  
作って行きたいです  
体育市民連帯と共に  
していただけますか？



## 01 ニューシス 2024. 08. 12

## 開会式の議論から水質施設や性別問題まで…言葉も問題も多かったパリ五輪



17日間にわたって行われた「2024パリオリンピック」が幕を閉じ、歓喜と物足りなさが入り混じった韓国選手団の旅程も終わった。大勢の人々が一堂に会しただけに、今大会ではスタートから試合内外で多様な議論が殺到した。

パリ五輪は開会式から格別だった。

これまでのオリンピックとは異なり、競技場ではなくセヌ川を背景にした野外ステージで歴代級規模の開会式を演出した

レディー・ガガ、セリーヌ・ディオーンなど超豪華歌手たちの公演からラファエル・ナダル、ジネディーヌ・ジダン、セリーナ・ウィリアムズなど歴代最高のスポーツスターまで総出動し、開会式を華やかに飾った。

しかし、とんでもないミスで汚点を残したりもした。

開会式の現場アナウンサーは、韓国選手団が大型太極旗を持って入場した瞬間、北朝鮮を意味する

「Democratic People's Republic of Korea」と紹介する大事故を起こした。

これに対し、大韓体育会と文化体育観光部は対応に乗り出し、国際オリンピック委員会（IOC）は謝罪の意を伝えた。

公演演出をめぐる舌戦が続いたりもした。

開会式中盤、レオナルド・ダ・ヴィンチの名画「最後の晩餐」の中のイエスと彼の弟子たちを連想させるような舞台に公演者としてドラッグクイーン(女性を演技する男性)、トランスジェンダーなどを出演させたことが保守系・宗教界から激しい批判を受けた。

演出を引き受けたティエリ・ルブル総監督は二日酔いの場面が「オランダ画家ヤン・ヴァン・ヴィレルトの『神々の饗宴』を参考にしただけで、『最後の晩餐』を嘲弄しようとする意図はなかった」と釈明したが、ルブル監督はもちろん演出者トーマス・ジョリー、公演者DJ バーバラ・ブッチまで殺害脅迫を受けなければならなかった。

本格的な大会が始まってからは、選手たちが利用する施設が問題だった。

今回のパリ五輪が低炭素・エコ大会を目指しただけに組織委員会は二酸化炭素排出減少のために選手村食堂に植物性食品をさらに増やした。

しかし、器械体操選手のシモン・バイルズ（米国）をはじめとする参加選手たちは、炭水化物とたんぱく質が足りない不均衡な献立に不満を示した。

また、気候非常事態から地球を救うという目標で選手村にもエアコンを設置せず、選手たちは猛暑にも窓を開けて生活しなければならなかった。

暑い天気と多くの虫に選手たちは宿舎でもまともに休息を取ることが難しかった。

これに対し主催側は各国が各自負担する方式で移動式エアコン使用を承認したが、富裕国と貧困国間の差別を引き起こすという批判にもつながった。

選手たちが利用するシャトルバスにもエアコンが設置されておらず、韓国選手団もやはり「蒸し器バス」に悩まされた。

これに対し、柳スンミン大韓卓球協会会長は独自の車を、チョン・チャンフン大韓水泳連盟会長は外部の宿舎を設けて選手たちを支援したりもした。

アルゼンチンサッカー代表チームとブラジルサッカー伝説コインブラジークなどはパリ大会途中で盗難被害まで受けるなど不十分な施設で多様な事件・事故が発生した。

開会前から最大の話題だったセヌ川の水質を巡る議論は、大会終盤まで続いた。

大会のかなり前から水質が良ならず、セヌ川で水泳競技を開催できない可能性もあるという憂慮が出てきたが、アメリ・ウデア＝カステラフランス体育長官とアン・イダルゴパリ市長は直接セヌ川に身を投げ、異常がないことを証明した。

しかし、開会式当日に降った雨で汚水・廃水がそのままセヌ川に流入すると、基準値以上の大腸菌と腸球菌が検出され、トライアスロンの公式訓練に続き、先月 30 日に予定されていた男子部の初試合まで延期されてしまった。

今月 1 日、トライアスロン戦に出場したタイラー・ミスロチュク（29、カナダ）が決勝点を通過した後、10 回余り嘔吐する姿は、セヌ川の水質に対する懸念をさらに高めた。

セヌ川の汚染を原因として特定はしなかったが、トライアスロン女子個人戦に出場したベルギー選手とスイス選手は感染症にかかった。

トライアスロンに続き、マラソンスイミング（オープンウォータースイミング）の公式練習まで取り消され、セヌ川で試合が行われる全ての種目が日程に支障をきたす未曾有の状況が続いた。

前回の東京五輪では重量挙げ選手のロレル・ハバード（ニュージーランド）、サッカー選手のクイーン（カナダ）などトランスジェンダー女性選手の登場が大きな議論だったとすれば、今回は染色体が問題だった。

女子ボクシングの試合に出場したイマネ・ケリフ（女子 66 キロ級・アルジェリア）とリン・ウィッティング（女子 57 キロ級・台湾）が XY 染色体を持って生まれたという事実が知らされ「女性性論難」に包まれた。特に、ケリーフが初戦から相手選手のアンジェラ・カリーニ（イタリア）の棄権で勝利を収めると、批判の声はさらに大きくなった。

テスラのイーロン・マスク最高経営責任者(CEO)は、元米国女子水泳国家代表ライリー・ゲインズの「男子は女子スポーツに属さない」という掲示物に「絶対的にそうだ(Absolutely)」と共感を示した。

「ハリー・ポッター」シリーズの著者、J.K. ローリングも彼女らの試合写真を共有し、「どんな場面も『新しい方式の男性人権運動』をこれ以上うまく要約することはできない。若い女性ボクサー（カリーニ）と一緒にリングに上がった男性選手（カリフ）のため、これまで努力してきたすべてのものを奪われた」と強く批判した。

これに対し、国際オリンピック委員会（IOC）のトーマス・バッハ委員長は、「これは包容の問題ではなく、正義の問題だ」とし、「彼女は女性として生まれ、女性として育った。パスポートにも女性となっている」と擁護したが、論議は収まらなかった。

非難が激しくなると、ケリーフは直接「人間の尊厳性を害する嫌悪を中断してほしい」と訴えた。

結局、両選手とも該当階級のトップに上がり、金メダルを首にかけ、XY 染色体を持った選手が女性競技に出ることが差別にならないかどうかについての議論は解消されなかった。

## 02 中央日報 2024. 08. 12 ユ・ソンオク 高麗大学国際スポーツ学部教授 選手の上に君臨する競技団体



今月3日、慶尚南道昌寧で大韓サッカー協会主催の全国女子サッカー選手権大会の大学部決勝が行われた。日中の最高気温が37度に達し、試合直前には夕立まで降って不快指数が3桁に迫った。ロッカールームもなく、ハーフタイムに選手たちはオンドル床のような人工芝に座って息切れを鎮めた。試合が終わって事が起こった。ある選手が呼吸困難と麻痺の症状を見せて倒れた。応急措置を急いでおかげで、意識を取り戻し、病院に運ばれた。この事件をいくつかのメディアが報道した。もみ消そうとしていたサッカー協会に非難が殺到した。大会を主管した女子サッカー連盟の関係者は最近、監督たちが集まったグループトークに文を載せた。バンエウォン、バンヒョプトゥだった。保護者や選手たちが言論に情報提供できないよう監督たちが「管理しろ」という指示は笑って済まされるに値する。選手たちは女性として最小限の人権を守るために更衣室を用意してほしいと要請した。この関係者の反応は驚愕に耐えない。更衣室を設ければエアコンまで設置してほしいということが明らかで不可能だという内容だった。

パリ五輪が幕を閉じた。金メダル5個が目標だという大韓体育会の謙遜を笑いたかったのか。韓国選手たちは最高の技量を披露し、予想をはるかに上回る成績を収めた。しかし、今回のオリンピックは今月5日以前と以後に分かれた感じだ。バドミントン女子シングルスで28年ぶりに金メダルをプレゼントしたアン・セヨンの決心が分水嶺だった。アン・セヨンはこの日、「代表チームとはずっと一緒に行くのは難しそうだ」とし、大韓バドミントン協会に残念な気持ちを示した。アン・セヨンの発言は、すべての五輪問題を覆い隠してしまった。選手たちが苦勞して獲得したメダルは後回しにされた。その代わり、競技団体役員の飛行機座席等級のような事案が論難の中心に立った。アン・セヨンは現在まで立場を追加で明らかにしていない。バドミントン協会も釈明報道資料を配布して対抗した。真実攻防だけが残った格好だ。

「競技団体が私たちの声を聞かずに君臨しようとしている」という選手たちの訴えは大げさではないようだ。大韓体育会は選手たちの権益を保障するため、競技団体に選手委員会を設置するよう勧告している。しかし、大多数の団体は選手委員会を組織図から外したり、構成すらしていない。バドミントン協会は選手委員会を設けている。ところが、委員らの面々をよく見ると、品揃えに過ぎない。中学校の教師が委員長を務めており、6人の委員は学校チームやクラブチームの指導者一色だ。選手たちの声を反映することは不可能だ。バドミントン協会は金テクギュ会長を含め、副会長・理事など役員が40人もいる。しかし、選手たちに代わって意見を述べる立場にある役員は見当たらない。人的にも物的にも規模が最も大きいという大韓サッカー協会さえ、選手の人権を守ってほしいという声に耳を閉ざしている。

五輪でも開かれてこそ関心を集める不人気種目団体の事情も気の毒だ。今回の出来事が起こると、バドミントン協会は「孫フンミンや金ヨナ級と勘違いしているようだ」とアン・セヨンをこき下ろした。企業はスター選手をマーケティングに活用するため、競技団体に後援金を出す。朴槿恵前大統領の弾劾以後、大企業が足を引っ張り、不人気種目の団体はさらに難しくなった。政府が税金で訓練費を一部支援してい

る。しかし、五輪やアジア大会は「金の無い家庭でも祭祀に使う分は残しておくものだ」という諺が戻ってくるようだ。今回の波紋は、スター級選手と疎通してパイを分けてこそ、競技団体の持続可能性を図ることができるという教訓を残した。

若い世代はアン・セヨンの発言を競技団体の年配の方々の「お年寄り」根性に対する抵抗と考える。李ギフン大韓体育会長は「今回の五輪の善戦は海兵隊入所訓練の結果」と自画自賛した。実際、国家代表選手たちは昨冬、海兵隊に入所し、2泊3日の克己訓練を受けた。海兵隊入所訓練は、大韓体育会長のマインドがどれほど時代錯誤的なのかを示した事例だ。政界でも、今回の事案を自分勝手に使う構えだ。議政葛藤をはじめ、様々な懸案に余念がない大統領室が、首席秘書官会議で安セヨン波紋に多大な関心を示したという。ただでさえ大韓体育会長の任期をめぐって対立していた。文化体育観光部を前面に出して、強力な真相調査を準備しているという。この機会に競技団体が選手の上に君臨する弊害が一掃されることを願う。

出典：<https://www.joongang.co.kr/article/25269983>

### 03 MBC 2024. 08. 12

#### 最小規模の選手で 16 年ぶりの歴代最高成績



アンカー 世界中のお祭り、パリオリンピックが幕を閉じました。今回の大会で韓国選手団は目標値をはるかに越えた金メダル 13 個を獲得しました。

アンカー

歴代最多の金メダルと同率となり、総合 8 位となりました。

アーチェリー3 冠王のキム・ウジンとイム・シヒョンは韓国選手団 MVP を獲得しました。

パリからキム・スグン記者です。

レポート

大会初日、射撃 10m エアライフル混成団体戦で出た初メダルを皮切りに、韓国選手団は大会序盤、銃と剣、弓でメダル狩りに拍車をかけました。

射撃 10 代の名射手、オ・イェジンと最年少の金メダリスト、パン・ヒョジンが金色の銃声を上げ、フェンシングのオ・サンウクは金色の突きで 2 冠を獲得しました。

親孝行種目のアーチェリーは文字通り完璧でした。

混成団体戦の金メダルを皮切りに、4.9 ミリ差で勝利を確定したキム・ウジンの金メダルまで、アーチェリー5 種目すべての金メダルを総なめにしました。

並んで 3 冠に輝いたキム・ウジンとイム・シヒョンは韓国選手団の男女 MVP に選ばれました。

[キム・ウジン/アーチェリー代表チーム]

“歴史の 1 ページにもう書けているようで、とても嬉しく思っています。これからも続けて歴史を書いていくように努力していきます。”

28 年ぶりにバドミントン女子シングルスでトップに立ったアン・セヨンが金メダル確定後、協会の行政を批判し、雰囲気は沈みましたが、テコンドーで 2 つの金メダルを獲得し、メダル狩りを続けました。

イーロン・マスクの関心を受けてオリンピックスターに浮上した射撃は、メダリストのキム・イェジ。元気いっぱいのプレーと仲間への応援と美味しそうに食べる姿で人気を集めた卓球のシン・ユビンは連日話題の中心に立ちました。

[シン・ユビン/卓球代表チーム]

「あまりにも多くの応援を送ってくださって、私のお姉さんたちとお兄さんたちと一緒に頑張れたと思うので、感謝していると言いたいです。」

金メダル 13 個、銀メダル 9 個、銅メダル 10 個。

48 年ぶりに選手団の規模は最小でしたが、金メダルとしては歴代最多タイ、全体のメダルも歴代 2 番目に多かったです。

開幕前に出た懐疑的な評価にもかかわらず、144 人の太極戦士たちは 16 年ぶりに最高の成績を生み出しました。

喜びと感動を与えた韓国選手たちは、もう 4 年後の LA 五輪を準備します。

パリで MBC ニュースのキム・スグンです。

出典：[https://imnews.imbc.com/replay/2024/nwtoday/article/6626065\\_36523.html](https://imnews.imbc.com/replay/2024/nwtoday/article/6626065_36523.html)

## 04 ポリニュース 2024.08.09 キム・マンフム（ポリニュース論説顧問、元国会立法調査所長） オリンピック、スポーツと政治に対する断想



オリンピック期間だ。たまに国家主義的な五輪競争に不快な視線を持つ人もいる。普段スポーツが好きな私はオリンピックニュースに関心はかなりある方で、韓国選手たちの善戦を祈って応援を送る。五輪中継と関連ニュースが政争のニュースを少しは後回しにしている。

バドミントン女子個人で金メダルを獲得したアン・セヨン選手の協会批判発言が波紋を呼んだ。これまでバドミントン協会の運営と国家代表選抜支援に対する問題を吐露した。自分が五輪金メダルを取って注目される状況を待っていたということだ。帰国の途には、「韓国の善戦とメダル獲得選手たちの祝賀ムードに水を差したようで申し訳ない」と付け加えた。協会はアン選手の主張に対して反論資料を出し、アン選手は五輪終了後に本格的な立場を出すと言った。お互いの主張を突き詰めてみなければならないが、協会が抱えているある程度の問題点は予想できる。政府の主務省庁と監査院で調査を始めたというから、体育団体運営の改善の契機になることを願う。

このようなことに手を加えることは欠かせない政界だ。「バドミントン協会の問題を正したい」と意気込みを語った。国民の税金で支援され、政治参加の各種特権を享受している「あなたたちの組織」政党の実状を先に振り返ってから言うべきことだ。公的に支援される組織が私的な権力カルテルになって政党民主主義が作動しない「政治協会」の問題がはるかに大きいと見る。

それでも国民的な関心事であるだけに、党大会に出た民主党の党指導部候補たちは、五輪イベントを活用した選挙戦も行っている。李ジェミョン代表候補は拳銃射撃選手の服装とポーズで「射撃ジェミョン」

「出撃準備完了名射手」ハッシュタグと共に素敵な姿を演出した。相手与党所属で五輪 4 冠王の本物の射撃選手出身のチン・ジョンオ議員はこれについて「防弾国会立法独走議会掌握標的はどこですか」と応対し

て引用した。「名射手は名射手」まで加えた。名射手と李ジェミョンを守るという死守（訳注：射手と死守は同じ発音）の名射手を重義的に使ったのかは分からない。

スポーツが戦争の軟性化から出たという主張もある。同様に、政治の最も原始的な状態を戦争と見ることもある。しかし、今日の政治は、相手を殺したり屈服させる戦争ではなく、共生を前提とする。民主主義、共和国、ガバナンスなどがそのような原理を反映した概念だ。ところが最近、韓国政治は戦争に向かっている。相手を敵と見て、味方が正義の基準になる戦争だ。権力闘争にならざるを得ない政治に、そのような属性が基本的にあることは確かだ。ナチスの政治理論に力を加えたというカール・シュミット

(Carl Schmitt) は、政治について「敵と味方を区分すること」とまで言った。ナチ理論家だった。政治が避けられない権力闘争だとしても、共同体内部の政治は共生を前提にしなければならない。スポーツ競技でも相手を打ちのめさなければならない格闘技があるかと思えば、得点で分ける球技種目もあり、記録争いの陸上競技もある。球技種目もバレーボールやテニスのようにネットを挟んで行う種目もあり、陣営を越えてもみ合いもするハンドボールやサッカーのような競技もある。一時、学生たちに韓国の政治形態を聞くと、ハンドボール競技の水準という回答が多かった。理想的には互いに記録競争をする方が望ましいが、一定の領域は侵さずに相手を攻撃するバレーボールやテニスの試合程度も良い。

最近の状況を聞くと、ほとんどが格闘技だと答えそうだ。厳格な規則に従うスポーツとは異なり、格闘技式の政治は勝者が規則を勝手に主導する。また、スポーツ格闘技はその競技に限られるが、格闘技式のゼロサム権力闘争は致命的だ。記録試合のように好感を持って競争をする生産的政治、少なくとも一定の相手領域は尊重する共生の政治に転換されることを期待するのは現在としては縁木求魚（訳注：木に登って魚を求める）だろうか？

出典：<https://www.polinews.co.kr/news/articleView.html?idxno=660110>

## 05 中央日報 2024.08.10

### 女性でも男性でもありません・・・スポーツジレンマ「間性」選手



「性別論議」は2024年パリ五輪の話題の一つだった。昨年、国際ボクシング協会（IBA）主催の世界選手権大会で「XY染色体」を理由に失格となったアルジェリアのイマネ・カリフ（66キロ級）と台湾のリン・ウィティング（57キロ級）が今回の五輪では並んで決勝戦に進出したからだ。二人ともパスポートに記載された法的性別は女性だ。両選手はIBAが各種不正により公式協会認証を剥奪されたことにより「パスポート性別を基準とする」という国際オリンピック委員会（IOC）方針によりオリンピック舞台に立った。

#### ‘間性（intersex）選手’論議・・・

大半の人はXX染色体を持てば女性、XY染色体を持てば男性の特性をそれぞれ持って女性、男性として生きていく。しかし、XXまたはXY染色体を明確に保有していても、各種の医学的理由で身体特性が変わる可能性がある。そのため、身体的特徴が性染色体と正確に一致しない人も少数だが存在する。医学的に彼らは女性または男性ではなく「間性（intersex）」と呼ぶ。

間性選手の性別をめぐる法的争いは、10年前からスポーツ界に登場した。2014年、国際陸上連盟から無期限出場停止を受けたインド女子陸上選手のドゥティ・チャンドが代表的な例だ。連盟はチャンドの血中

テストステロン数値が男性水準であるため、女性とは見難いと判定した。連盟はチャンドに「薬物または手術でホルモンを下げるように」と勧告したが、チャンドは拒否し、スイスのローザンヌにあるスポーツ仲裁法廷(CAS)に連盟を提訴した。CASはチャンドの手をあげた。チャンドが良い運動能力を見せたことに訓練など他の要因もあるが、テストステロンが特に大きく役立ったという立証が足りなかったためだ。チャンドを出場停止させた規定も、「2年以内に新しい証拠を提示できなければ廃止せよ」とした。

### デビュー当時から議論、6年間法廷闘争中の南アフリカの陸上選手

初めて法廷闘争をしたのはチャンドだったが、スポーツ界に「女性選手の男性ホルモン数値」論争を本格的に呼び起こしたのは南アフリカ共和国の陸上選手キャスターのセメニャだ。彼女は2009年ベルリン世界陸上選手権大会で800メートルの金メダルを獲得した後、性別をめぐる議論が起これ、性別検査を受けたが、XY染色体を持ち、子宮・卵巣がなく潜伏辜丸を持っており、男性ホルモンの数値が一般女性の3倍だという報道が出た。

国際陸上連盟はその後、性別区分を性染色体検査にしていたのを廃止し、男性ホルモン検査をすることに変えた。一般男性のホルモン数値の下限値である10n mol/Lを超えると出場を禁止することにした。2019年には「先天的にテストステロン数値が高い女子選手が400メートルハードルおよびランニングに出場するには、6か月以上テストステロン数値を5nmol/L以下に下げなければならない」という規定を新たに作った。個人情報なので正確に明らかになったことはないが、スポーツ界ではセメニャのテストステロン数値を7~10n mol/L程度と推定している。

主な種目である400メートル、800メートル、1600メートル走のいずれも規制対象に含まれたセメニャは、この規定が不当だとし、CASに駆けつけた。CASは今度は連盟の手をあげた。セメニャはこれに従わずスイス連邦最高裁に控訴したが、2019年連邦最高裁も同じ結論を下した。

すると、セメニャは欧州人権裁判所(ECHR)にCASとスイス連邦最高裁判所を提訴した。昨年7月、ECHRは「セメニャが二つの裁判で私生活を尊重される権利、差別を受けない権利および救済を受ける権利が侵害された」とし、「スイス政府は6万ユーロ(約8500万ウォン)を支給せよ」と判断した。しかし、スイス側が控訴し、今年5月、ECHR最高裁判所の審理が再び開かれた。結論はまだ出ていない状況だ。

出典：<https://www.joongang.co.kr/article/25269754>

## 06 週間スポーツニュース

京畿道「体育人機会所得」で不人気種目の選手に「機会提供」

[https://www.newsis.com/view/NISX20240812\\_0002846549](https://www.newsis.com/view/NISX20240812_0002846549)

文化体育観光部、バドミントン協会論議に関する調査着手・・・有人村「体育政策改革の適期」

[https://imnews.imbc.com/news/2024/sports/article/6626149\\_36466.html](https://imnews.imbc.com/news/2024/sports/article/6626149_36466.html)

国民体育振興公団、下半期の国家代表を対象に国内大学院を支援

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20240812087700007?input=1195m>

「競技場工事入札、総合体育施設の赤信号」…世宗市、国費確保の死活

<https://www.daejonilbo.com/news/articleView.html?idxno=2149143>

体育会長、アン・セヨン関連「制度改善・率直な対話で整理すること」

[https://www.chosun.com/sports/sports\\_special/2024/08/11/ESXIDC5BRZGKRLPFYJ2BTWUEV4/?utm\\_source=naver&utm\\_medium=referral&utm\\_campaign=naver-news](https://www.chosun.com/sports/sports_special/2024/08/11/ESXIDC5BRZGKRLPFYJ2BTWUEV4/?utm_source=naver&utm_medium=referral&utm_campaign=naver-news)

大韓体育会選定、韓国選手団 MVP キム・ウジン、イム・シヒョン

<https://www.yonhapnewstv.co.kr/news/MYH20240812000700641?input=1825m>

扶余・反ダビ国民体育センター、来年下半期に着工

<https://www.news1.kr/local/daejeon-chungnam/5508105>

江原道、江原体育育成計画樹立 体育人材養成強化

<https://www.fnnews.com/news/202408121425105939>

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。

皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。

体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー (資料室) <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>